

平成28年度

事業報告書

収支決算報告書

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

公益財団法人荒川区自治総合研究所

目 次

1	事業報告書	1
2	収支決算報告書	11
	貸借対照表	
	貸借対照表内訳表	
	正味財産増減計算書	
	正味財産増減計算書内訳表	
	財産目録	
	財務諸表に対する注記	
	附属明細書	
	収支計算書	
	収支計算書に対する注記	

平成28年度

公益財団法人荒川区自治総合研究所

事業報告書

I 庶務事項

1 役員等の異動

年月日	役職	氏名	適用
平成29年3月31日	理事	二神 恭一	辞任

2 理事会の開催

回	開催等月日	決議及び報告事項
第1回	平成28年 5月12日	議決事項 1 平成27年度事業報告について 2 平成27年度収支決算報告について 3 平成28年度第1回評議員会の招集について
第2回 (決議の 省略)	平成28年 5月30日	議決事項 1 理事 西川太一郎を代表理事に選任するとともに、理事長とする 2 理事 二神恭一を代表理事に選任する
第3回	平成29年 3月8日	議決事項 1 事業計画書及び収支予算書の決定について 2 評議員選定委員会の外部委員(区民委員)の選任について 3 評議員選定委員会に提出する評議員候補者の決定について 4 平成29年度における資金調達及び設備投資について 5 平成28年度第2回評議員会の招集について 報告事項 1 平成28年度荒川区自治総合研究所の活動報告について

3 評議員会の開催

回	開催月日	決議及び報告事項
第1回	平成28年 5月26日	議決事項 1 平成27年度収支決算報告について 2 理事の選任について
		報告事項 1 平成27年度事業報告について
第2回	平成29年 3月17日	議決事項 1 平成29年度事業計画及び収支予算の承認について
		報告事項 1 平成28年度の活動報告について

Ⅱ 事業実施の状況

1 調査研究・政策形成支援事業（定款第4条第1項第1号事業）

（1） 荒川区民総幸福度（GAH）に関する研究

① 趣旨

- ・ 「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けて、荒川区民総幸福度（以下「GAH」という。）に関する調査研究を行った。GAHの研究については、荒川区民の幸福度を測る指標化の側面と、区民をはじめ荒川区に関わるすべての人や団体等が幸福について共に考え、地域の幸福のための活動につなげていく運動の側面を踏まえ取り組んだ。

② 調査研究の概要

- ・ 区民の幸福実感を調べるため、「健康・福祉」「子育て・教育」「産業」「環境」「文化」「安全・安心」の6つの分野のGAH指標を用いた第4回目の区民アンケート調査（以下「GAH調査」という。）を実施し、その調査結果について分析を行った。
- ・ さらに、行政評価へのGAH指標の活用方法やGAH調査結果による施策の改善等といった、GAHの活用の方向性について、保育士、建築職、土木職など様々な経験と知識を持つ区職員及び研究所職員で構成されるワーキング・グループなどで検討した。

③ GAH推進リーダーとの連携

- ・ 町会等の地域団体のリーダーである区民により構成されるGAH推進リーダー会議を開催し、研究所の研究成果等について情報提供を行うとともに参加者による意見交換を実施した。
 - 日 時 平成28年4月18日（月）午後2時30分
 - 場 所 サンパール荒川小ホール
 - 出席者 64名（うちGAH推進リーダー47名）
 - 内 容 GAHの概要の説明の後、いくつかのグループに分かれ、「地域人材の確保と育成」をテーマとし、意見交換を実施した。

④ 住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合（通称：幸せリーグ）運営支援

- ・ 参加自治体の首長及び職員が、相互に施策等に関する意見交換等を行うことを通じて、住民サービスの一層の充実と幸福度の向上を図ることを目的とする「住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合（通称：幸せリーグ）」の事務局として、区と共同で運営に携った。
- ・ 参加自治体数 99（平成29年3月現在）
- ・ 幸せリーグの活動は、主に各自自治体の首長による、会全体の運営に関する事項を議論する総会と、実務担当者による、意見交換・情報共有等を行う実務者会議を開催した。
- ・ 総会においては、決算の決議、役員、会計監事の改選、実務者会議の中間報告を行った。
- ・ 実務者会議では、幸福度に関する取り組みのほか、地方創生や地域間連携、少子高齢化対策などのテーマごとに6つのグループを構成し、議論を進めた。実際の会議の開催に加え、日常的に電子メール等を活用しながら情報共有、意見交換を行った。

（２） 地域力に関する研究

① 趣旨

- ・ 地域活動への参加者を増やし、地域を活性化させるためボランティア活動に焦点を当てた調査研究を行った。

② 調査研究の概要

- ・ 区民の地域活動や社会貢献への参加に焦点を置き、検討を進めた。
- ・ 具体的には、地域活動・社会貢献活動等への参加の背景や動機及び参加行動を促進する要因等を把握するため、区民や関係機関を対象に25年度に行ったヒアリング調査を基に、研究を進めた。
- ・ 研究にあたっては、地域活動・社会貢献活動等への参加に結びつけるコーディネートの重要性などについて、関連する組織と情報や意見交換を行った。

③ 報告書のまとめ・公表

- ・ 平成28年12月、「荒川区の地域力向上に向けて～地域活動・社会貢献活動等への参加を増やすための方向性～」を研究員調査報告としてまとめた。

(3) 自然体験を通じた子どもの健全育成研究プロジェクト

① 趣旨

- ・ 子どもの健全育成という観点から自然体験の有用性を検証するとともに、荒川区の次代を担う子ども達の自然体験をより効果的・効率的に実施していくための方策などについて提言するため、調査研究を行う。

② 調査研究の概要

- ・ 子どもの健全な成長における自然体験の効果について、先行研究や文献サーベイによる調査を行い、論証した。
- ・ 荒川区における子どもの自然体験に関する既存の取り組みを、事業の実施主体と体験プログラム内容により整理、分類した。
- ・ 区の自然体験事業に携わる関係団体にインタビューを実施し、具体的な事例を把握した。

③ 報告書のまとめ

- ・ これまでの研究成果を最終レポートとしてまとめ、自然体験が子どもたちに及ぼす影響や自然体験の有効性について示すとともに、自然体験をより一層推進していくための提言をまとめた。

2 人材育成事業（定款第4条第1項第2号事業）

（1） 区職員の研究員配置

- ・ 研究員として研究所に派遣された区職員3名については、客員研究員や非常勤研究員とともに研究活動に従事することにより、調査研究のノウハウを培うとともに、政策形成能力など職員の総合的な能力の向上に努めた。

（2） ワーキング・グループ等による調査研究の実施

- ・ 区職員等がワーキング・グループに参画し、研究所研究員、客員研究員とともに調査研究を行うことを通じて、幅広い観点から区民の幸福について考えるとともに、論理的な思考や政策形成能力の向上を図った。

（3） 荒川区職員ビジネスカレッジとの連携講座

- ・ 区職員の問題意識の醸成や能力の向上等を図るため、荒川区職員ビジネスカレッジ（ABC）と連携講座を実施した。
 - 日 時 平成29年1月26日（木）午後6時
 - 場 所 荒川区役所3階 304・305会議室
 - 講 演 「荒川区民総幸福度（グロス・アラカワ・ハッピーネス：GAH）について」
 - 対 象 荒川区職員ビジネスカレッジ受講生、区職員
 - 内 容 GAHの概要の説明の後、研究所研究員と荒川区職員ビジネスカレッジ受講生がいくつかのグループに分かれ、GAHに関する質疑応答及び自分の仕事がどのように区民の幸福につながっているかについての議論を行った。

3 情報収集・情報発信事業（定款第4条第1項第3号事業）

(1) ニュースレター「RILAC NEWS」の発行

- ・ 研究所における調査研究活動の動向を掲載したニュースレターを発行し、区窓口や関係機関に配布し、周知した。

(2) ホームページの運営

- ・ 研究所の概要、研究テーマ紹介、発行物紹介、調査研究活動等の情報を幅広く区内外に発信した。
- ・ 幸せリーグ専用ホームページを作成し、掲示板などを活用しながら自治体間の交流を深めた。

(3) その他の情報発信

- ・ 他自治体、議会、研究機関、報道関係等の視察・取材対応を行った。
- ・ また、大学での講義や、他自治体での研修等に講師として参加することで、区や研究所の取り組みをPRした。

○ 平成28年度実績

相手方別の件数内訳

行政	4件	マスコミ	7件
県議会、市議会等	14件	その他	6件
大学・研究機関	8件	計	39件

※平成21年10月から平成29年3月末までの実績は434件

○マスコミ記事等件数（RILAC設立からの累計）

	研究所	研究全般	本	GAH	貧困	親なき	他	掲載紙、番組等
新聞 70件	6(1)		4	54	3	1	2	読売、朝日、毎日、東京、産経、都政新報、熊本日日、徳島、静岡、中日、下野等
雑誌 42件	1		3	32	4		2	現代用語の基礎知識、ガバナンス、東洋経済、栄養と料理、日経グローバル、月刊広報、自治のか

								けはし、月刊地域づくり、区政会館だより、道経塾等
テレビ 19件	(2)	2		17				NHKニュースウォッチ9、大阪毎日放送、NHKクローズアップ現代、荒川ケーブル、テレビ朝日報道ステーション、テレビ東京ワールドビジネスサテライト、TBSテレビNステ、KBS京都等、関西テレビ、韓国MBC
ラジオ 4件				4				TBS 森本毅郎スタアハイ、TBC ラジオ橋幸夫 あしたへのエール、東京FM「中西哲生のクロノス」
インターネット 5件				5				内閣府メールマガジン、中日新聞 web、Yahoo ニュース
掲載数 140件	7	2	7	112	7	1	4	

※ () 内の数字は1つの団体(マスコミ等)から複数取材を受けた件数。

○講師等

- ・平成28年 9月 大分県社会福祉介護研修センター
- ・平成28年 9月 プラチナの会
- ・平成28年 10月 新潟県津南町商工会
- ・平成28年 11月 政策研究大学院
- ・平成28年 12月 早稲田大学オープン教育センター

平成28年度

公益財団法人荒川区自治総合研究所

収支決算報告書

貸借対照表
平成29年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0	0	0
普通預金	10,058,097	12,862,367	△ 2,804,270
未収金	0	130,500	△ 130,500
未収利息	300	373	△ 73
流動資産合計	10,058,397	12,993,240	△ 2,934,843
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) その他固定資産			
ソフトウェア	184,032		184,032
その他固定資産合計	184,032	0	184,032
固定資産合計	3,184,032	3,000,000	184,032
資産の部合計	13,242,429	15,993,240	△ 2,750,811
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	9,903,348	12,824,982	△ 2,921,634
預り金	155,049	168,258	△ 13,209
流動負債合計	10,058,397	12,993,240	△ 2,934,843
2 固定負債			
負債の部合計	10,058,397	12,993,240	△ 2,934,843
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
2 一般正味財産	184,032	0	184,032
正味財産の部合計	3,184,032	3,000,000	184,032
負債及び正味財産合計	13,242,429	15,993,240	△ 2,750,811

貸借対照表内訳表

平成29年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業 会計	法人会計	内部取 引消去	合計
I 資産の部				
1 流動資産				
現金	0	0		0
普通預金	9,332,410	725,687		10,058,097
未収金	0	0		0
未収利息	300	0		300
流動資産合計	9,332,710	725,687		10,058,397
2 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産預金	3,000,000	0		3,000,000
基本財産合計	3,000,000	0		3,000,000
(2) その他固定資産				
ソフトウェア		184,032		184,032
その他固定資産合計	0	184,032		184,032
固定資産合計	3,000,000	184,032		3,184,032
資産の部合計	12,332,710	909,719		13,242,429
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	9,209,585	693,763		9,903,348
預り金	114,735	40,314		155,049
流動負債合計	9,324,320	734,077		10,058,397
2 固定負債				
負債の部合計	9,324,320	734,077		10,058,397
III 正味財産の部				
1 指定正味財産				
寄付金	3,000,000	0		3,000,000
指定正味財産合計	3,000,000	0		3,000,000
2 一般正味財産	0	184,032		184,032
正味財産の部合計	3,000,000	184,032		3,184,032
負債及び正味財産合計	12,324,320	918,109		13,242,429

正味財産増減計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益計			
基本財産運用益	300	749	△ 449
基本財産受取利息	300	749	△ 449
受取補助金等	21,703,309	18,641,807	3,061,502
受取地方公共団体補助金	21,703,309	18,641,807	3,061,502
雑収益	33,943	29,240	4,703
受取利息	908	5,002	△ 4,094
雑収益	33,035	24,238	8,797
経常収益計	21,737,552	18,671,796	3,065,756
(2) 経常費用計			
事業費	16,677,393	14,524,427	2,152,966
給料手当	11,539,961	9,751,164	1,788,797
法定福利費	951,041	915,212	35,829
旅費交通費	597,394	569,787	27,607
通信運搬費	248,055	231,172	16,883
備品費	309,960	134,784	175,176
消耗品費	752,122	687,602	64,520
会議費	31,025	20,220	10,805
新聞図書費	153,619	141,824	11,795
印刷製本費	712,823	620,028	92,795
賃借料	65,482	71,012	△ 5,530
諸謝金	396,000	457,200	△ 61,200
支払負担金	537,056	624,219	△ 87,163

科 目	当年度	前年度	増 減
委託費	265,701	265,870	△ 169
雑費	117,154	34,333	82,821
管理費	4,876,127	4,147,743	728,384
役員報酬	108,600	122,400	△ 13,800
給料手当	3,298,590	3,045,831	252,759
法定福利費	439,559	440,239	△ 680
会議費	6,410	9,560	△ 3,150
旅費交通費	24,160	24,492	△ 332
通信運搬費	39,051	42,566	△ 3,515
減価償却費	46,008	0	46,008
消耗品費	240,062	117,330	122,732
賃借料	10,368	10,368	0
租税公課	0	600	△ 600
諸謝金	144,000	144,000	0
支払負担金	125,635	125,964	△ 329
委託費	381,747	52,674	329,073
雑費	11,937	11,719	218
経常費用計	21,553,520	18,672,170	2,881,350
評価損益等調整前当期経常増減額	184,032	△ 374	184,406
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	184,032	△ 374	184,406

科 目	当年度	前年度	増 減
当期經常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	184,032	△ 374	184,406
法人都民税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	184,032	△ 374	184,406
一般正味財産期首残高	0	374	△ 374
一般正味財産期末残高	184,032	0	184,032
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	3,184,032	3,000,000	184,032

正味財産増減計算書内訳表
(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取 引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益計				
基本財産運用益	300	0		300
基本財産受取利息	300	0		300
受取補助金等	16,643,313	5,059,996		21,703,309
受取地方公共団体補助金	16,643,313	5,059,996		21,703,309
雑収益	33,780	163		33,943
受取利息	745	163		908
雑収益	33,035	0		33,035
経常収益計	16,677,393	5,060,159		21,737,552
(2) 経常費用計				
事業費	16,677,393	0		16,677,393
給料手当	11,539,961	0		11,539,961
法定福利費	951,041	0		951,041
旅費交通費	597,394	0		597,394
通信運搬費	248,055	0		248,055
備品費	309,960	0		309,960
消耗品費	752,122	0		752,122
会議費	31,025	0		31,025
新聞図書費	153,619	0		153,619
印刷製本費	712,823	0		712,823
賃借料	65,482	0		65,482
諸謝金	396,000	0		396,000
支払負担金	537,056	0		537,056

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取 引消去	合計
委託費	265,701	0		265,701
雑費	117,154	0		117,154
管理費	0	4,876,127		4,876,127
役員報酬	0	108,600		108,600
給料手当	0	3,298,590		3,298,590
法定福利費	0	439,559		439,559
会議費	0	6,410		6,410
旅費交通費	0	24,160		24,160
通信運搬費	0	39,051		39,051
減価償却費	0	46,008		46,008
消耗品費	0	240,062		240,062
賃借料	0	10,368		10,368
租税公課	0	0		0
諸謝金	0	144,000		144,000
支払負担金	0	125,635		125,635
委託費	0	381,747		381,747
雑費	0	11,937		11,937
経常費用計	16,677,393	4,876,127		21,553,520
評価損益等調整前当期経常増減額	0	184,032		184,032
評価損益等計	0	0		0
当期経常増減額	0	184,032		184,032
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益計	0	0		0
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用計				
経常外費用計	0	0		0

科 目	公益目的 事業会計	法人会計		合計
当期経常外増減額	0	0		0
税引前当期一般正味財産増減額	0	184,032		184,032
法人都民税	0	0		0
当期一般正味財産増減額	0	184,032		184,032
一般正味財産期首残高	0	0		0
一般正味財産期末残高	0	184,032		184,032
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	0	0		0
受取寄付金	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	3,000,000	0		3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	0		3,000,000
III 正味財産期末残高	3,000,000	184,032		3,184,032

財産目録
(平成29年3月31日現在)

(単位：円)

項目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0		
普通預金			
朝日信用金庫荒川支店	10,058,097		
未収金	0		
未収利息	300		
流動資産合計		10,058,397	
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金			
朝日信用金庫荒川支店	3,000,000		
その他固定資産			
ソフトウェア	184,032		
固定資産合計		3,184,032	
資産合計			13,242,429
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	9,903,348		
預り金	155,049		
流動負債合計		10,058,397	
2 固定負債			
固定負債合計			
負債合計			10,058,397
III 正味財産の部			
正味財産合計			3,184,032
負債及び正味財産合計			13,242,429

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法

固定資産の減価償却方法は定額法で行っている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。特定資産は該当なし。

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小計	3,000,000	0	0	3,000,000
合計	3,000,000	0	0	3,000,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。特定資産は該当なし。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(3,000,000)	0	0
小計	3,000,000	(3,000,000)	0	0
合計	3,000,000	(3,000,000)	0	0

4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
公益財団法人荒川区 自治総合研究所補助金	荒川区	0	30,779,000	30,779,000	0	—

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	230,040	46,008	184,032

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の対する注記の2及び3に記載している。

2 引当金の明細

該当なし。

収 支 計 算 書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位：円)

勘定科目	当初予算額	流用額	予算現額	決算額	差異	執行率
大 中科目	a	b	c=a+b	d	e=c-d	f=d/c (%)
I 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
基本財産運用収入	1,000	0	1,000	300	700	30.00%
基本財産利息収入	1,000	0	1,000	300	700	30.00%
補助金等収入	30,779,000	0	30,779,000	21,703,309	9,075,691	70.51%
地方公共団体補助金収入	30,779,000	0	30,779,000	21,703,309	9,075,691	70.51%
雑収入	21,000	0	21,000	33,943	△ 12,943	—
受取利息収入	7,000	0	7,000	908	6,092	—
雑収入	14,000	0	14,000	33,035	△ 19,035	—
事業活動収入計	30,801,000	0	30,801,000	21,737,552	9,063,448	70.57%
2. 事業活動支出						
事業費支出	25,192,000	0	25,192,000	16,677,393	8,514,607	66.20%
給料手当支出	14,089,000	0	14,089,000	11,539,961	2,549,039	81.91%
法定福利費支出	1,427,000	0	1,427,000	951,041	475,959	66.65%
旅費交通費支出	795,000	0	795,000	597,394	197,606	75.14%
通信運搬費支出	290,000	0	290,000	248,055	41,945	85.54%
備品費支出	0	311,000	311,000	309,960	1,040	99.67%
	事業費支出・新聞図書費より103,000円流用、諸謝金より208,000円流用					
消耗品費支出	813,000	0	813,000	752,122	60,878	92.51%
会議費支出	100,000	0	100,000	31,025	68,975	31.03%
新聞図書費支出	1,729,000	△ 103,000	1,626,000	153,619	1,472,381	9.45%
印刷製本費支出	1,691,000	0	1,691,000	712,823	978,177	42.15%
賃借料支出	115,000	0	115,000	65,482	49,518	56.94%
諸謝金支出	2,090,000	△ 208,000	1,882,000	396,000	1,486,000	21.04%
負担金支出	771,000	0	771,000	537,056	233,944	69.66%

勘定科目		当初予算額	流用額	予算現額	決算額	差異	執行率
大	中科目	a	b	c=a+b	d	e=c-d	f=d/c (%)
	委託費支出	1,155,000		1,155,000	265,701	889,299	23.00%
	雑支出	127,000	0	127,000	117,154	9,846	92.25%
	管理費支出	5,587,000	0	5,587,000	4,830,119	756,881	86.45%
	役員報酬支出	206,000	0	206,000	108,600	97,400	52.72%
	給料手当支出	3,518,000	0	3,518,000	3,298,590	219,410	93.76%
	法定福利費支出	484,000	0	484,000	439,559	44,441	90.82%
	旅費交通費支出	33,000	0	33,000	24,160	8,840	73.21%
	通信運搬費支出	45,000	0	45,000	39,051	5,949	86.78%
	消耗品費支出	459,000	0	459,000	240,062	218,938	52.30%
	会議費支出	18,000	0	18,000	6,410	11,590	35.61%
	印刷製本費支出	0	0	0	0	0	—
	賃借料支出	10,000	1,000	11,000	10,368	632	94.25%
	管理費支出・負担金から1,000円流用						
	租税公課支出	73,000	0	73,000	0	73,000	0.00%
	諸謝金支出	144,000	0	144,000	144,000	0	100.00%
	負担金支出	167,000	△ 1,000	166,000	125,635	40,365	75.68%
	委託費支出	417,000	0	417,000	381,747	35,253	91.55%
	雑支出	13,000	0	13,000	11,937	1,063	91.82%
	事業活動支出計	30,779,000	0	30,779,000	21,507,512	9,271,488	69.88%
	事業活動収支差額	22,000	0	22,000	230,040	△ 208,040	—
II 投資活動収支の部							
1. 投資活動収入							
	投資活動収入計	0	0	0	0	0	—
2. 投資活動支出							
	固定資産取得支出	0		0	230,040	△ 230,040	—
	ソフトウェア取得支出	0		0	230,040	△ 230,040	—
	投資活動支出計			0	230,040	△ 230,040	—
	投資活動収支差額				△ 230,040	230,040	

勘定科目科目	当初予算額	流用額	予算現額	決算額	差異	執行率
大 中科目	a	b	c=a+b	d	e=c-d	f=d/c (%)
Ⅲ 財務活動収支の部						
1. 財務活動収入						
財務活動収入計	0	0	0	0	0	—
2. 財務活動支出						
財務活動支出計	0	0	0	0	0	—
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	—
Ⅳ 予備費支出	0	0	0	0	0	—
予備費支出計						
当期収支差額	22,000	0	22,000	0	22,000	—
前期繰越収支差額	0	0	0	0	0	—
次期繰越収支差額	22,000	0	22,000	0	22,000	—

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未払金、預り金を含めている。

なお、当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高
現 金	0
預 金	10,058,097
未 収 金	0
未 収 利 息	300
合 計	10,058,397
未 払 金	9,903,348
預 り 金	155,049
合 計	10,058,397
次期繰越収支差額	0

平成 29 年 4 月 21 日


監 査 報 告 書

公益財団法人荒川区自治総合研究所

理事長 西 川 太 一 郎 様

公益財団法人荒川区自治総合研究所

監 事 笹島健司 

監 事 利根川弘衛 

私達は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 199 条並びに公益財団法人荒川区自治総合研究所定款第 9 条に基づき、同財団の平成 28 年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告します。

1 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、会計帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて実施した。
- (2) 業務監査について、事務局長及び関係職員から実施事業の報告を聴取するとともに、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて実施した。

2 監査結果

- (1) 財務諸表（貸借対照表・正味財産増減計算書）、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況及び財産状態を適正に表示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は適正であると認める。
- (3) 理事の業務執行は適正であり、定款及び諸規程に違反する事実はないと認める。